

学習発表会発！

# 市木の未来を創造しよう！

もし市木から  
子どもが  
いなく  
なったら...？

- 学校がなくなる
- 保育園がなくなる
- 空き家が増える

市木を  
守りたい！

じゃあどうしたら変えられるの？

## 子どもたちからの3つの提案

提案が  
誕生するまでの秘話は  
裏表紙を見てね！



**提案1** 優月、明絆、壮司、美空

### イエナプラン教育の学校づくり

生徒が8人まで減っていた長野県の大日向小学校は、イエナプラン教育を取り入れることで、170人まで増えた。生徒の76%が移住者！ イエナプラン教育プランとは、「会話」「遊び」「学習」「催し」の四つの活動を巡らせながら、学びを進めていくもの。日本の学校のように科目ごとの時間割はない。

**提案2** あまね、りゅうせい、ふうが、まい

### 公立でも魅力的な学校ができる

小規模特認校となった、長野県の伊那西小学校。子どもたちだけで森のおうちを作ったり、子どもたちが作ったジャムを売ったり、森で遊び、森を守る活動など、他の小学校にはない取り組みで、移住者が増え、生徒数が増えた。市木小学校も、公立学校とは思えない学校に変えたら...

こんな市木小にいきたい！



2月22日に行われた学習発表会。

5・6年生は『市木の未来を創造しよう！』というテーマで発表しました。その発表は、地域の方々にインタビューして、市木がいま抱える問題点をとらえ、子ども達の視点で解決方法を提案する、素晴らしいものでした。一度の発表で終わらせるのではなく、実現可能な未来へつなげていくために、この誌面で大特集してご紹介します！子ども達からの提案、大人はどう受けとめますか？



## 市木の問題点って？

### 人口減少

- 市木小学校に入学する生徒が減っている
- 若い人たちが都会に行っている
- お年寄りが増えている
- 空き家が増えている



### 提案3

ふうた、けいと、ほわ、こころ

### 神山プロジェクトを参考にする

人口約2万人だった徳島県の神山町は、2010年には4分の1ほどに人口が減っていた。そこで立ち上がった神山プロジェクトで、人口が増加。空き家を活用して、仕事を持った移住者を誘致する情報発信を行ったり（ワークインレジデンス）、快適に働けるサテライトオフィス（企業の本拠地から離れた場所にあるオフィス）を誘致したりする取り組みの他、まちづくり、地域課題解決、自分らしい生き方・働き方・暮らし方のきっかけをつかむ場として、神山塾の活動をしている。

- 市木にサテライトオフィスを作り、移住しやすい環境にする
- 空き家をお店に変える
- 市木交流ラウンジで、自分らしい生き方、働き方、暮らし方について話しあう

-発表会を終えて生まれた新たな問い-

- どう行動して、どう市木を変えるのか
- 地域は提案に賛成しているのか
- なぜ今まで何も変わらなかったのか
- 提案が本当に実行できるのか
- 大人任せにならないか

子どもも 大人も みんなと一緒に！  
市木の未来のために！

